

(西暦) 2025 年 3 月 10 日

子宮体癌の治療のため当院に入院・通院されていた患者さんの

診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに：

子宮体癌は、近年増加傾向です。早期で診断されることが多く、Ⅰ期・Ⅱ期が約 80%を占めています。近年、早期子宮体癌に対しては腹腔鏡下手術やロボット手術などの低侵襲手術が主流となりつつあり、2014 年 4 月には子宮体癌に対する腹腔鏡手術が保険収載されました。当院で早期子宮体癌に対して腹腔鏡手術を選択した患者さんのカルテ情報から、手術方法や治療方針の妥当性、治療成績を検討し、最適な治療・手術方法の確立を目的としています。

対象となる患者さん：

2014 年 4 月 1 日より 2030 年 3 月 31 日までの間に、当院産婦人科において子宮体癌の診断で、腹腔鏡手術の適応となった方(術中に開腹移行となった症例も含む)

【診療情報等の項目】

診療情報等：患者さんの年齢、BMI、癌の組織型、ステージ、手術日、手術時間、出血量、術中合併症、術後合併症、腹腔鏡から開腹移行の有無、T 因子、N 因子、M 因子、術後後療法の有無、術後再発の有無、再発時の治療、転帰

【情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、後述のお問い合わせ先までご連絡をお願いします。

研究課題名：

「腹腔鏡手術を選択した早期子宮体癌の後方視的検討」

【方法】

2014 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日までの間に当院で早期子宮体癌に対して腹腔鏡手術を選択した患者さんのカルテ情報から上記の診療情報等を調査し、データベースを作成します。それらの全ての患者さんの術前診断、治療方針や手術方法、その後の経過から手術方法や治療方針の妥当性を検討し、最適な治療・手術方法の確立を目的としています。

個人情報の管理について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたの

参考書式 1

ものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。

- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に【または倫理委員会に承認された破棄時点で】完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

研究期間

承認後～2030 年 3 月 31 日（予定）

医学上の貢献

例：本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しかし、本研究により早期子宮体癌に対する腹腔鏡手術の有用性が明らかになる事により、新たな知見が得られることで科学への貢献が為され、社会への貢献が達成されと考えられます。

研究実施機関

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 産婦人科

【当院での研究責任者】所属 産婦人科 職名 医長 氏名 前原 都

【利用する者の範囲】

所属 産婦人科 職名 診療部長 氏名 上岡 陽亮

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

浜の町病院・産婦人科 担当医師 前原 都

電話番号：092-721-0831 FAX:0120-721-991

（対応可能時間帯：8 時 30 分～17 時 15 分）

以上